諫早市立真城小学校　学校だより　第１３号　　令和８年９月２５日　　☎ 26-8700
学校教育目標　一人ひとりが主体的に学び、共に支え・磨き合いながら、夢を実現できる子どもの育成　　校長：竹添聡

真城っ子

やさしさいっぱい
かしこさいっぱい
たくましさいっぱい



■真城小学校ホームページ■　日々、真城小学校の様子や子どもたちの活動を投稿中。　*毎日チェック♥*

夏休み作品展

今年も力作が、揃いました。絵画、工作、手芸、書写、自由研究など、作品に一生懸命取り組んでいる姿を思い浮かべながら、鑑賞して周りました。夏休みの作品展は、出来栄えを競い合うのではありません。取り組もうとした意志、実際に取り組んだ過程や努力こそが、大切なことです。ご家族の手助けを受けながら、作品作りを進めた夏休みの思い出は、一生心に残り続けることでしょう。














10 月行事予定

１（木）	４年身体測定・視力検査 全校集会
２（金）	３年身体測定・視力検査
５（月）	２年身体測定・視力検査
６（火）	１年身体測定・視力検査
８～９	６年修学旅行
９（金）	就学時健康診断
１３（火）	色別一斉下校指導 （子どもの安全を守る日一斉指導）
１５（木）	４年音楽会壮行会
１６（金）	避難訓練（消防署指導）
１９（月）	クラブ（アルバム撮影）
２２（木）	６年小体連壮行会
２３（金）	真城中校区音楽会（真城中）
２７（火）	６年小体連
２９（木）	児童集会（図書委員会）

「子どもに生きる力をつけさせるために」

子は親の鏡



けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる
「かわそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる
子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる
親が他人をうらやんでばかりいると、子どもも人をうらやむようになる
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
広い心で接すれば、キレる子にはならない
ほめてあげれば、子どもは明るい子に育つ
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
和気あいあいとした家庭で育てば、
　子どもは、この世の中はよいところだと思えるようになる

『アメリカインディアンの教え』加藤諦三

　子育ての大前提として、子どもにとって家庭が安全な環境であること、そのことによって、子ども自身が自信を持ち、何かに挑戦してみようという気持ちが生まれてくるのです。子どもが、新しいこと、今まで自分がやってこなかったことに挑戦していこうとする力は、「失敗しても大丈夫」という安心な環境があってこそ、大きく成長するものなのです。

　このことから、子どもが自立・自律していくためには、親子の幸せな関係性がとても大切だということが分かります。

「ぐずぐずしないで、早く決めなさい」
「なんでそんなこともできないの」

　口うるさく、子どもに対して感情的に怒ってはいませんか。



　アメリカインディアンの教えから、温かくて、家族みんなが幸せになる親子関係、生きる力を育む前向きな言葉かけについて、学んでみることといたしましょう。